

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成24年5月10日 (2012.5.10)

【公開番号】特開2010-276235(P2010-276235A)
 【公開日】平成22年12月9日 (2010.12.9)
 【年通号数】公開・登録公報2010-049
 【出願番号】特願2009-127464(P2009-127464)
 【国際特許分類】

F 2 4 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 11/02 1 0 2 H

F 2 4 F 11/02 S

F 2 4 F 11/02 1 0 4 A

【手続補正書】
 【提出日】平成24年3月16日 (2012.3.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

室内機に、吹出口から吹き出される空気の向きを変更する風向変更羽根と、障害物の有無を検知する障害物検知装置とを設け、該障害物検知装置の検知結果に基づいて前記風向変更羽根を制御して空調運転を行う空気調和機であって、

前記障害物検知装置は、設定された受信可能期間において、自身の送信波の反射波を受信する超音波センサを有し、前記受信可能期間は、室内機の設置高さ、室内温度及び気圧の少なくとも一つに応じて設定されることを特徴とする空気調和機。

【請求項 2】

室内機設置空間に、室内機から見た上下方向の角度及び左右方向の角度で決定されるアドレスを設定し、前記受信可能期間を、前記アドレスごとに設定したことを特徴とする請求項 1 に記載の空気調和機。

【請求項 3】

床面からの高さに二つの閾値を設定し、前記超音波センサから送信された超音波の伝搬時間に基づいて決定される二つのマスク時間を前記二つの閾値に対応して前記各アドレスに設定し、前記二つのマスク時間に挟まれた期間を前記受信可能期間としたことを特徴とする請求項 2 に記載の空気調和機。

【請求項 4】

空気調和機を遠隔操作する遠隔操作装置に、室内機の設置高さを切り換える室内機高さ切換手段を設け、室内機の設置高さを前記室内機高さ切換手段により設定したことを特徴とする請求項 1 あるいは 2 に記載の空気調和機。